

入出荷、在庫管理、包装業務をもっとラクに！ 現場の業務改善、人手不足解消を実現する DXの進め方と 補助金活用セミナーinうるま市

2026. 9月1日(火)

受付開始 12:45～
セミナー 13:00 - 16:00
相談会 16:15 - 17:00

会場 沖縄IT津梁パーク
中核機能支援施設A棟1階（第2・3会議室）
うるま市字州崎14-17 TEL: 098-989-0153

参加対象者 県内中小企業・支援機関職員

輸配送、保管・在庫管理、荷役、流通加工・梱包、
配送業務を行う物流、卸売、小売、製造業など事業者

受講無料 | 定員 20名

講師

Ishibashi Taketo
石橋 岳人氏



株式会社
ロジスティクス・サポート&パートナーズ
常務取締役

神奈川大学経済学部経済学科卒。
株式会社船井総合研究所入社、流通業を中心に
コンサルティング活動・指導業務を経て、1998年
物流コンサルティング会社入社。同社取締役を経て
2005年1月、ロジスティクス・サポート&パート
ナーズ（ロジSP）常務取締役に就任。物流ABCを
活用した利益の出せる得意先・作業管理の仕組み
づくりを得意としている。また、「見える化」手法
を活用した"人時生産性"・"物流品質"・"モチベー
ション"に関する改善指導は好評を博している。

第1部

「改善」ってどうやるの？～物流改善・効率化の進め方～

- (1) 改善の5つのステップ
- (2) 大事なことは、「正しい」現状把握
- (3) 改善のアプローチポイント

第2部

“正しい”現状把握と、“なりたい姿”と“仮説”

- (1) 対象範囲と物流コストの把握
- (2) 物流状況の定量的な見える化
- (3) 全体像の把握と問題(改善)仮説に基づく指標の設定

個別相談会 事前申込制：物流改善の相談：1社 / 補助金、計画策定支援に関する相談：3社程度

第3部

「良い物流現場」の実現に向けて

- (1) 「良い物流現場」とは何か？
- (2) 課題抽出の視点～ECRS発想と6つのない～
- (3) 物流効率化機器を活用した改善手段

第4部

投資対効果の算出

- (1) 効率化機器は手段であり、目的ではない
- (2) 定量効果の算出方法
- (3) 効率化機器導入・投資対効果算出事例

公益財団法人 沖縄県産業振興公社 産業振興部 産業振興課

〒901-0152 沖縄県那覇市字小禄1831番地1（沖縄産業支援センター4階）

☎ 098-859-6239 ✉ logidigi[at]okinawa-ric.or.jp

※ [at] を@に置き換えて送信してください。

担当：藤原・外間・田島・新里・親泊

【申込方法】

二次元バーコードから
お申込みください。

【申込締切】

8月28日(金)

